会　報　63　　白鷹町史談会

史　　談

２０２１（Ｒ３）　　　　９．１６

■事業の報告

稔りの秋を迎えておりますが、コロナウイルスの流行は続き、日常を取り戻すことはまだまだ難しいようです。

さて、今年度はじめの事業として令和３年度白鷹町史談会総会と講演会を開催しました。そこで今回の会報ではその報告を中心にします。

■令和３年度白鷹町史談会総会

期日　　令和3年6月27日（日）
会場　　白鷹町中央公民館
時間　　午後1時30分～午後2時20分
議事　　①令和元年度から2年度までの事業報告、並びに収支決算報告について
　　　　②令和3年度事業計画（案）、並びに収支予算について
　　　　③会報『史談』の発行について

内容について、事務局から説明し、議論していただきました。特に今年度は会報『史談』第30号の発行年度になっており、その経費の捻出方法、原稿を集めることなどが注目されました。決定したことを下記に簡単に示します。

１　事業
　総会・講演会
　　6月27日（日）午後1時30分～午後4時30分
　　　　　　　　　白鷹町中央公民館
　研修旅行　中止（詳細は後に記します）
　　9月30日（木）福島県会津美里町他
　研修会
　　令和4年2月13日（日）
　　詳細は後日に決定してお知らせします。

２　会報『史談』30号の発行
　　Ａ４版40頁。今年度内に発行する予定。
　　原稿締め切りは12月中と考えています。

３　史談会会報の発行
　　この会報のことですが、2ヶ月に1号を努力目標としてがんばります。

４　その他
　　町報に「さんぽ道」として町の歴史的な見所などを会員が寄稿することにしました。
　　今年度は６、７、12、２月号の予定です。
　　６月は平吹利數さん、７月は高橋克範さんが寄稿しました。12月、２月は検討中です。

■令和３年度白鷹町史談会講演会

総会に引き続き講演会を開催しました。

時間　　午後2時30分～午後4時30分
講師　　竹原万雄　　東北芸術工科大学准教授
演題　　「明治12年における置賜郡のコレラ流行」

最新著書　2020年12月　清文堂出版株式会社

講師の竹原先生は文献史学が専門で、とりわけ明治時代の感染症をめぐる歴史を研究テーマとして、その時々の政府の感染症対策と民衆の動向を照らし合わせながら研究をなさっています。今回は明治12年にこの地域でも流行したコレラについてお話しいただきました。

お話の中心になったのは、「明治12（1879）年のこれら流行下において、置賜郡の人々はどのように対応したのか？…自治体史や先行研究を参考にしつつ、行政と民衆の視点から検討（当日資料より）」ということでした。現在新

型コロナ感染症流行下ということもあり、自分たちの意識や行動や国、県などの対応状況なども考え合わせることができ、興味深いお話でした。

『窪田郷土史』の記述の紹介がありました。人々は村の外に出ないで、入り口には張り番所を設けたこと、仕事を休んで百万遍の念仏講を開いてコレラ退散を念じたこと、殺菌剤の石炭酸を消毒に使ったのではなく、コレラは臭いを嫌うとして各戸の玄関につり下げたことなどのことは、単に愚かなことと片付けることはできない庶民の何かにすがりたい心の表れのように思いました。

まとめとして、竹原先生は多くの史料を参照することにより「行政としては消毒の確保や予防方法の模索に奔走する姿が見られた。民衆は前近代的な伝統医療に依存する一方、政府から提示される予防（消毒）を誤解しながらも受容し、積極的な交通規制を実施するなど自地域を守る必死な姿が見られた。全体として致命率が高い未知なる感染症に臨んできた人々の姿」が見られたと総括してくださいました。

会場は定員210名の大会議室を使用したのですが、その10分の1あまりの会員の参加でお話を伺うことができました。テーマも今に即した内容でしたので、大変充実した講演会になったのではないかと思います。竹原先生ありがとうございました。紙面を借りて御礼申し上げます。ます。

■研修旅行中止について

９月３０日（木）に予定していました今年度の史談会研修旅行は新型コロナ感染症の流行が収まらないので中止いたします。行先は福島県の会津美里町方面でした。平吹会長が詳しい案内書を作ってくださっていましたので、一部を紹介します。

会津美里町は戦国時代から江戸時代にかけて活躍した天海大僧正の出身地です。天海大僧正は武田信玄、徳川家康、秀忠、家光に仕え、その政治的、宗教的な支えとなった人です。信長の焼き討ちで消失した比叡山の復興再建や日光東照宮の造営などに尽力、死後「慈眼大師」の称号を与えられました。

そのような町ですので、多くの寺院などがあります。予定では、重要文化財の田子薬師堂、会津三十三観音の三十番札所中田観音、得道上人が開山し徳一上人が再興した雷電山法用寺や会津本郷焼資料館などを見学するつもりでした。今年度はできませんでしたので、来年度に期待したいと思います。

■お知らせ

すでに町報などでお知らせがなされていますが、白鷹町歴史民俗資料館「あゆみしる」が旧十王公民館を改装してプレオープンし、展示が見られるようになっています。現在はまだ常設展示室だけですが、旧町立中山小学校体育館に収蔵されていた民具などの大部分が運び込まれました。

料金は200円、場合によっては収蔵庫や常設展示室の二階にある文書保管庫などの見学も可能のようです。

開館日は金、土、日の週３日。会員の石井紀子さんが専任の学芸員として働いています。希望によって詳しい説明もしてくださるようですので皆さんどうぞ行ってみてください。

（守谷）